

～おいしいキャベツをつくりましょう！～

きよみ
キャベツ「Y R清美」の
産地事例紹介

雪印種苗（株）
畑作園芸本部 営業課

1. はじめに

甘味があって食感のやわらかい、いわゆる「春系」キャベツは、主に青果用として全国各地で栽培されています。

弊社では、昨年群馬県と共同で育成した新品種「Y R清美」を発表しましたが、本品種はバーティシリウム萎凋病に強い抵抗性を示す特性だけにとどまらず、食味に優れたおいしい春系キャベツとして、たいへんご好評をいただいております。

今回、春系キャベツの大産地の一つ、千葉県銚子市の生産者2名の方の栽培事例についてご紹介します。

2. 食味でえらんだ結果
「Y R清美」になった岩瀬さん

千葉県銚子市の岩瀬さんは、現在約50aの夏播きキャベツを栽培しています。経営の中心作物はダイコンとニ

ンジンで、トンネル春どりおよび秋冬どり（ダイコンのみ）をおこなっていますが、出荷作業が集中しないよう夏どりのスイートコーンや秋冬どりキャベツ等を上手に組み合わせて作付けし

ています。

特に秋冬どりはキャベツとダイコンが時期的に重なるため、キャベツをダイコンの出荷前後になるよう作型の調整をおこなっています。

＜岩瀬さんの夏播きキャベツの作型例＞

- ① 8 / 1 播種 ⇒ 8 / 下定植 ⇒ 10 / 20～11 / 10 収穫
- ② 8 / 1 8 播種 ⇒ 9 / 中定植 ⇒ 11 / 下～12 / 中収穫



写真2：岩瀬氏圃場のY R清美



写真1：岩瀬氏圃場のY R清美

作業上細かな育苗管理がわずらわしいため、播種および定植は上記2回のみで、収穫をずらす目的で複数の品種を使用しています。「Y R 清美」は比較的生育の早い品種なので、1回目の播種の1番早く収穫する品種（10/20～22収穫開始）として利用しています。その後弊社の「Y R 初美636」（10/25～27収穫開始）が使われています。

今まで「Y R 初美636」が早出しの中心だったので、「Y R 清美」を利用することで収穫の分散がよりおこないやすくなったことと、さらに食味も春系の中でもおいしい品種であることから今後も使ってきたいとのことでした。

また、岩瀬さんは食味の向上と害虫

の被害軽減のため、できるだけ肥料を控えた栽培を心がけており、春系キャベツだけにこだわらず、比較的食害の少ない寒玉キャベツの導入にも取り組んでいます（弊社寒玉品種「Y R 恋豊」を検討中）。

3. 「Y R 清美」の播種適期を見極めた石毛さん

石毛さんは岩瀬さんと同じくダイコン、ニンジンを中心に作付けをおこなっており、夏播きキャベツは約80a栽培されています。石毛さんには「Y R 清美」の試作を数年前からお願ひしており、品種特性として良いところ、悪いところ含めて詳しく観察していただきました。

特に播種適期については、あまり早播きをすると高温期での定植となり、台風の危険性の高い時期で、大雨や大風等による外葉の傷みから生育のばらつきがみられ、銚子での適期としては8/10頃の播種が良いとのことでした。「Y R 清美」の特性として早生で早く収穫できるメリットがある一方で、気温が高い時期で収穫を迎えると割れが出やすい傾向もあり、過度の早播きに注意が必要です。

岩瀬さん同様石毛さんも、「Y R 清美」の食味のよいところは高く評価されており、食味の良さが直接販売面で反映していない現状でも、ご自身で納得できる自信をもったキャベツを消費者へ届けたいとのこだわりを強く感じました。

<石毛さんの「Y R 清美」適期作型の一例>

・ 8/10播種 ⇒ 9/上定植 ⇒ 10/下～11/上収穫



写真3：石毛氏圃場のY R 清美



写真4：適期を迎えたY R 清美